

日本音楽知覚認知学会 平成 24 年度秋季研究発表会

日本音響学会 音楽音響研究会 2012 年 11 月研究会

## プログラム

2012 年 11 月 10 日 (土)、11 日 (日)

東京藝術大学 千住キャンパス スタジオ A

## 第1日目 (11月10日)

---

13:00 ~ 13:05 開会挨拶

午後・前半 (13:05 ~ 13:55)

座長: 川上 愛

[1] JSMPC2012(2)-1, MA2012-45

音楽再生音に含まれる超高周波成分の周波数帯域が脳活動に及ぼす影響について

福島 亜理子 (放送大), 森本 雅子 (国立精神・神経医療研究センター),  
八木 玲子 (東京成徳短大), 河合 徳枝 (国際科学振興財団/早稲田大・研究院),  
本田 学 (国立精神・神経医療研究センター),  
仁科 エミ (放送大/総合研究大学院大), 大橋 力 (国際科学振興財団)

[2] JSMPC2012(2)-2, MA2012-46

ERAN 惹起に必要な音楽的文脈形成における刺激提示頻度の効果

橋本 翠, 宮谷 真人 (広島大院)

—休憩 (10分) —

午後・後半 A (14:05 ~ 15:20)

座長: 生駒 忍

[3] JSMPC2012(2)-3, MA2012-47

増三和音と減三和音の知覚 —音楽的文脈による協和度の違い

アーサーズ 裕子, ティマーズ レネー (シェフィールド大)

[4] JSMPC2012(2)-4, MA2012-48

メロディの潜在記憶 —注意分割課題を用いた検討—

伊藤 範子, 安達 真由美 (北海道大院)

[5] JSMPC2012(2)-5, MA2012-49

日本旋法における主音の認知と判断

—陰類ミ旋法変格 (属音) 終止か, 変格シ旋法主音終止か (II)

村尾 忠廣 (帝塚山大)

—休憩 (15分) —

午後・後半 B (15:35 ~ 17:35)

座長: 亀川 徹

[6] JSMPC2012(2)-6, MA2012-50

【招待講演】音楽研究における著作権処理について

「ネット時代の著作権～研究・教育目的で、どこまでできるか？」

福井 健策 (弁護士/ニューヨーク州弁護士/日大芸術学部客員教授)

17:35 ~ 17:45 日本音楽知覚認知学会研究選奨授賞式

18:00 ~ 20:00 懇親会

## 第2日目 (11月11日)

---

午前・前半 (9:05 ~ 10:45)

座長: 山崎 晃男

[7] JSMPC2012(2)-7, MA2012-51

音楽階層構造の基盤となる終止構造認識の心理および生理学的検証

星 - 柴 玲子 (東大院/理研 BSI/JST-ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト),  
古川 聖 (東京芸大),  
岡ノ谷 一夫 (東大院/理研 BSI/JST-ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト)

[8] JSMPC2012(2)-8, MA2012-52

悲しい音楽の心地よさ

川上 愛 (東京芸大院/理研 BSI), 古川 聖 (東京芸大院),  
岡ノ谷 一夫 (東大院/理研 BSI/JST-ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト)

[9] JSMPC2012(2)-9, MA2012-53

音楽情動コミュニケーションにおける身体的様相

寺澤 洋子 (筑波大/JST さきがけ), 星 - 柴 玲子 (東大), 柴山 拓郎 (東京電機大),  
大村 英史 (JST-ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト), 古川 聖 (東京芸大),  
牧野 昭二 (筑波大), 岡ノ谷 一夫 (東大)

[10] JSMPC2012(2)-10, MA2012-54

和太鼓演奏における動作及び音響分析による比較

石川 潤 (新潟大), 高井 聡恵 (山形県長井市立長井小), 森下 修次 (新潟大)

—休憩 (15分) —

午前・後半 (11:00 ~ 12:40)

座長: 安井 希子

[11] JSMPC2012(2)-11, MA2012-55

ヴァイオリン演奏における擦弦振動と共鳴振動の観察

松谷 晃宏 (東工大・半導体 MEMS プロセス技術センター)

[12] JSMPC2012(2)-12, MA2012-56

聴能形成訓練における問題難易度推定のための基礎的検討

丸井 淳史, 亀川 徹 (東京芸大)

[13] JSMPC2012(2)-13, MA2012-57

音響技術者による音響操作と音の印象語の関係

谷口 高士 (大阪学院大)

[14] JSMPC2012(2)-14, MA2012-58

3D映像と高さ方向のサラウンドによる空間印象の相互作用

亀川 徹, 丸井 淳史 (東京芸大), 伊達 俊彦 (パナソニック),  
江夏 正晃 (マリモレコーズ)

12:40 ~ デモンストレーション (講演 14: JSMPC2012(2)-14, MA2012-58)

## 【招待講演】 音楽研究における著作権処理について

「ネット時代の著作権 ～研究・教育目的で、どこまでできるか？」

講演：福井 健策（弁護士／ニューヨーク州弁護士／日大芸術学部客員教授）

## 【内容概要】

我々は、教育や研究活動をおこなう上で、音楽や映像、楽譜などを日常当たり前のよう  
に使用しています。しかしこれらのコンテンツのほとんどには著作権が存在し、公共の場  
における使用にあたっては許諾が必要となります。これまで学会という限られた場では許  
されて来た事も、ホームページへの掲載や、ネット配信といった使用方法が増えるに従っ  
て、われわれ使用する側に大きな意識の変化が求められています。本講演では、コンテン  
ツに関する著作権のスペシャリストである、福井健策弁護士を迎えて、ネット時代におけ  
る著作権の扱いについて、研究・教育目的での使用に焦点をあてて解説していただきます。

## 【講師紹介】

### ■経歴

神奈川県立湘南高等学校出身

1991 年 東京大学法学部卒業

1993 年 弁護士登録(第二東京弁護士会・45 期),東京永和法律事務所入所

1998 年 米国コロンビア大学法学修士課程修了

(Harlan Fiske Stone Scholar 賞、セゾン文化財団スカラシップ)

1998-1999 年 シンガポール国立大学(NUS)リサーチスカラー

(アジア諸国の放送政策に関する助成研究)

1999 年- 内藤・清水法律事務所(現青山総合法律事務所)パートナー

2003 年 骨董通り法律事務所を設立 (現在、同代表パートナー)

2009 年- 日本大学芸術学部 客員教授を兼務

国立国会図書館 納本制度審議会 委員

2011 年 同オンライン資料の補償に関する小委員会 委員長

### ■著書・論文

- 『『ネットの自由』 vs. 著作権』(光文社新書)
- 「なんでコンテンツにカネを払うのさ? デジタル時代のぼくらの著作権入門」  
(共著・阪急コミュニケーションズ)
- 「ビジネスパーソンのための契約の教科書」(文春新書)
- 「著作権の世紀～変わる『情報の独占制度』」(集英社新書)
- 「エンタテインメントと著作権」1-4 巻(編著・社団法人著作権情報センター)
- 「著作権とは何か～文化と創造のゆくえ」(集英社新書)
- 「エンタテインメントの罫 アメリカ映画・音楽・演劇ビジネスと契約マニュアル」  
(編著・すばる舎)
- 「エンタテインメント法への招待」(共著・ミネルヴァ書房) ほか

### ■その他

- ニューヨーク州弁護士
- 東京藝術大学非常勤講師(2004 年～)
- 「著作権保護期間の延長問題を考えるフォーラム」世話人(2006 年～)
- 経済産業省「映像コンテンツ制作の委託取引に関する調査研究」ほか委員(2006 年)
- 文化庁「著作物等のネットワーク流通促進のための意思表示システムの在り方に関する調  
査研究」主査(2011 年～)
- コンテンツ学会理事

【参照：骨董通り法律事務所ホームページ (<http://www.kottolaw.com/>)、  
ツイッター (@fukuikensaku)】